

演習問題 5

1. 時刻 $t = 0$ に、抵抗 R , コイル L およびコンデンサ C が電源 E と直列した回路のスイッチを on にしたと仮定する. 時刻 t でのコンデンサーの電荷を $Q(t)$ とおいた時, $Q(t)$ が満たす微分方程式を求めよ.

【回答例】

回路の電流を $I(t)$ とすると、直列回路でのキルヒホッフの電圧の法則により

$$RI(t) + L \frac{dI(t)}{dt} + \frac{Q(t)}{C} = E(t)$$

が成り立つ. 一方, 電流は

$$I(t) = \frac{Q(t)}{dt}$$

となるので, 上の式に代入すると

$$L \frac{d^2 Q(t)}{dt^2} + R \frac{dQ(t)}{dt} + \frac{Q(t)}{C} = E(t)$$

となる.

2. $\tan^{-1} x$ の導関数を求め, 微分方程式

$$x df(x) = [x^2 + f^2(x) + f(x)] dx$$

を解け.

【回答例】

$y = \tan^{-1} x$ とおくと, $x = \tan y$ である. y の導関数は

$$\frac{dy}{dx} = \left(\frac{dx}{dy} \right)^{-1}$$

と書けるが, ここで

$$\begin{aligned} \frac{dx}{dy} &= \frac{1}{\cos^2 y} \\ &= \frac{\sin^2 y + \cos^2 y}{\cos^2 y} \\ &= \tan^2 y + 1 \\ &= x^2 + 1 \end{aligned}$$

となる. 故に, $\tan^{-1} x$ の導関数は $\frac{1}{x^2+1}$ である.

$f(x) = xu(x)$ とおくと, 上の方程式は

$$\begin{aligned}xu(x)dx + x^2 du(x) &= [x^2 + x^2 u^2(x) + xu(x)]dx \\ \Rightarrow du(x) &= [1 + u^2(x)]dx \\ \Rightarrow \frac{1}{1 + u^2(x)} du(x) &= dx\end{aligned}$$

両辺を積分すると

$$\tan^{-1} u(x) = x + \alpha$$

となり

$$f(x) = x \tan(x + \alpha)$$

である.

3. 次の微分方程式を解け.

(a)

$$xf(x)(1+x^2)\frac{df(x)}{dx} = 1 - f^2(x)$$

【回答例】

$$\begin{aligned}xf(x)(1+x^2)\frac{df(x)}{dx} &= 1 - f^2(x) \\ \Rightarrow \frac{f(x)}{1 - f^2(x)} df(x) &= \frac{1}{x(1+x^2)} dx \\ \Rightarrow \frac{f(x)}{1 - f^2(x)} df(x) &= \left(\frac{1}{x} - \frac{x}{1+x^2} \right) dx\end{aligned}$$

両辺を積分すると

$$\frac{1}{2} \ln |f^2(x) - 1| = \frac{1}{2} \ln(x^2 + 1) - \ln |x| + \alpha$$

となるので

$$f^2(x) - 1 = \pm e^{2\alpha} \left(1 + \frac{1}{x^2} \right)$$

となる. $\beta = e^{2\alpha}$ とおくと

$$f^2(x) = 1 \pm \beta \left(1 + \frac{1}{x^2} \right)$$

より

$$f(x) = \pm \sqrt{1 \pm \beta \left(1 + \frac{1}{x^2} \right)}$$

である.

(b)

$$x \frac{df(x)}{dx} + f(x) = x(1 - x^2)$$

【回答例】

対応する同次方程式

$$\frac{1}{f(x)}df(x) = -\frac{1}{x}dx$$

の一般解は

$$f(x) = \frac{\alpha}{x}$$

なので

$$f(x) = \frac{\alpha(x)}{x}$$

とおくと

$$\frac{df(x)}{dx} = \frac{d\alpha(x)}{xdx} - \frac{\alpha(x)}{x^2}$$

上の微分方程式は

$$\frac{d\alpha(x)}{xdx} = x(1 - x^2)$$

となり

$$\alpha(x) = \frac{x^2}{2} - \frac{x^4}{4} + \beta$$

が成り立つ．故に

$$f(x) = \frac{\alpha(x)}{x} = \frac{x}{2} - \frac{x^3}{4} + \frac{\beta}{x}$$

である．